

MTI ハンドブック 編集のガイドライン

MTI ハンドブック編集グループ

2009年 5月 8日 作成

1. MTI ハンドブックで提供される講演資料（以下資料）は「MTI 研究会で行われた口頭講演の第三者によるレビュー」である。
2. 資料の編集は、原則的に講演者以外の第三者が行うものとする。但し、MTI ハンドブック編集グループに属する若手研究者が講演者である場合は、講演者本人が編集を行う。
3. 編集者が資料の著者であるものとする。よって、資料の内容に関する責任は、講演者ではなく、編集者が負うこととなる。これは、資料が、「口頭講演に対する」、「編集者による」レビューであることによる。
4. 資料は、その内容およびあげられている参考文献だけで自己完結するように配慮する。また、講演テーマに関する未解決問題を資料中に提示する。大学院生・若手研究者が研究を行ううえで有効に活用できるようにする。
5. 編集作業終了後、講演者に資料の内容をチェックしていただき、了承を得たうえで、MTI ハンドブックウェブページ上に公開するものとする。
6. 論文として発表されていない図表など、オンラインで公開することが望ましくない内容に関しては、講演者の指示に従って資料には含めない。
7. 観測システム・研究手法紹介のポスターは、編集作業は行わずそのままの形で公開する。
8. オンラインで公開する全ての資料の形式は PDF ファイルとする。
9. MTI ハンドブックウェブページへのアクセスについては、パスワード認証等の制限をかけず、一般に自由に閲覧できるようにする。
10. 資料 PDF ファイルの二次配布を制限するために、すべての PDF ファイルはコピー不可のセキュリティ設定をする。
11. 編集されていないポスター発表の PDF ファイルは、パスワードロックをかける。パスワードは MTI メーリングリストで周知する。